

泌尿器科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 腹腔鏡下腎盂形成術における尿管ステント留置法に関する検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 守屋 仁彦 （医学研究院腎泌尿器外科学教室・准教授）

[研究の目的]

腹腔鏡下腎盂形成術の際の順行性・逆行性ステント留置法における周術期経過を比較し、両者の利点・有用性を比較検討する。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2011 年 12 月から 2015 年 10 月までの間に腹腔鏡下腎盂形成術を行った方

○利用するカルテ情報

年齢、性別、受診契機、病歴、診断名、治療歴、患側、ステント留置法、手術時間、ステント位置、周術期合併症、術後の水腎症の状態

[研究実施期間] 実施許可日～2020年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 守屋 仁彦

電話 011-716-1161 FAX 011-706-7853